



2020・3・1

第 366 号

101-0065 東京都千代田区

西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

発議阻止へ、運動の輪をさらに大きく

市民と野党の共闘強化へ交流

【青森県／県九条の会等 16 団体】 新署名「安倍改憲 NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」の運動を広げる「青森憲法フォーラム」が 2 月 23 日、青森市で開かれました。

主催は、青森県九条の会、県・市町村の九条の会など県内の 9 条の会と市民団体、共産党、社民党の 16 団体。主催団体のほか、新署名に取り組む市民ら 60 人が各地の運動を学び、交流しました。また立憲民主党の山内崇県連代表、国民民主党の田名部匡代参院議員・県連代表からメッセージが寄せられました。

県九条の会の金澤茂代表世話人が情勢報告。改憲に執念を燃やす安倍・自民党の動きと、取り組んできた「3000 万人署名」の到達点を共有し、参加者が新署名成功をめざし団結し運動を広げることの重要性を強調しました。

地域での宣伝・署名の取り組みを 7 団体が報告しました。政党から共産党の斉藤美が発言し、緒県書記長、社民党の三上武志

自民、運動方針で草の根活動強調

…わが党は、憲法改正に向けた国民的論議を前進させるため、党を挙げて活動を展開していく。憲法改正推進本部では「遊説・組織委員会」を設置するとともに、全国各地で「憲法改正研修会」を精力的に開催していく。

組織運動本部においては、憲法改正について、女性の視点からのパンフレットや若い世代に向けた漫画入りの冊子を作成するとともに、青年組織が連続して取り組んでいる「全国一斉街頭行動」を開催するなど、各種会合、街頭活動を積極的に開催する。さらに友好団体に対しても、説明する機会を積極的に設けるなど世論喚起に励む。中央政治大学院は、年間を通じ憲法や歴史や経済、文化などの側面から「まなびと夜間塾」を開催する。広報本部では「憲法改正の主役は、あなたです」と題するポスターの全国展開や動画の活用を通じ国民的な機運の盛り上げに努める。…

県連代表が市民と野党の共闘で安倍改憲ノ一の世論を広げ、安倍政権退陣をめざす決意を表明しました。

3000 万署名の確信を踏まえ

【新潟県／柏崎刈羽9条の会】 清水隆男さんの発言から 柏崎刈羽では、事実上の新署名スタート集会となる新春の集いを2月11日に行いました。柏崎刈羽は、原発の立地点であることもあり、政党のレベルでも労働組合のレベルでも、市民運動のレベルでもなかなか複雑なものがある。そうした問題を克服しながら「安倍9条改憲NO！3000万署名」では、自主目標として2万筆を掲げて、昨年の暮れに遂に突破することができた。これだけの数というのは、夢のまた夢だった。大きな目標だったが、それが突破できたことが、もの凄い自信になっている。

この目標が達成できたのは、9条の会が中心となり、戦争法が強行される中で、政党や労働組合、色々な団体、有力な個人の方々に必死に訴え、「戦争を許さない柏崎刈羽の会」という柏崎刈羽の事実上の「市民と野党の共闘」組織を作って運動してきたこと。

3000万署名が15000筆ぐらいまでいき、選挙の疲れも出て、運動が止まりかけた時に、「それを変えたのは、中学校区ごとの作戦会議を開き、地域別のローラー作戦」などを具体化したことだった。

清水さんは、その行動が、多くの市民が期待を寄せたものだったことを、多くの人々が自ら署名を集め、多くのカンパも寄せられていることなどを紹介しながら報告、新

しい緊急署名について、「また署名か」「疲れた」という声もあるが、あと1年半、ここで頑張れば、安倍さんはしっぽを巻いて退散するしかないところまで来ている。だからこそ改憲派も必死なんだと思って頑張らなければいけない」と決意を述べ、新春の集いで、新署名と県9条の会の「憲法ポスター」運動を大きく広げる提起をし、運動に入っていると報告。

最後に、労働組合や政党や色々な団体の県段階から「地域で一緒になって新しい署名をすすめる」方針が地域の組織に徹底してほしいという要望を述べ、「縦の糸と横の糸が絡み合うとエネルギーになって飛躍ができる」と決意を述べた。

（「新潟県9条の会」N090）

いま頑張れば未来は明るい

【愛知県／あいち女性九条の会】 あいち女性九条の会は2月16日、交流会「桜ではなく梅を見る会—真実を知るために」を名古屋市内で開き、44人が参加しました。安倍首相が狙う9条改憲に反対し、改憲発議を許さない世論を広げようと交流しました。

会場には梅の花や絵が飾られ、参加者がグループに分かれて討論。名古屋大学の森英樹名誉教授と原子力市民委員会の大沼淳一さんが助言者として加わりました。

参加者は、「これまで約3400人から9条改憲反対の署名を集めた。新たな署名では4000人をめざしたい」「署名は、こんなに集まっているのかと衝撃を与えている」「戦争で悲惨な体験をし、戦後に民主的な憲法ができてうれしかった。安倍さんの改憲の

先には戦争が透けて見える。9条にだけは触れてほしくない」などと発言しました。

森名誉教授は、九条の会の力で改憲をやめさせるか、「緊急事態」などを理由に突破されるか、攻めぎあいの最後の局面に来ていると強調。

「ここでわれわれが押し切れれば当分の間9条改憲はできなくなるし、安倍さんも倒れざるを得ない。私たちが踏んばれば、明るい未来をキャッチできる良い場面にいる。心して活動に取り組んでほしい」と話しました。

半田市の女性（75）は、「署名は集めれば集めるほど力になると確信した。安倍首相に9条改憲をあきらめさせるために、地域でがんばる」と話しました。

草の根活動同士の闘いで勝利を

【東京／三多摩市民アクション】 「改憲発議阻止・安倍首相退陣めざす 新・憲法署名スタート集会」が26日、東京都国分寺市で開かれました。「安倍9条改憲NO！三多摩市民アクション」が呼びかけたもので、今年から始まった「改憲発議に反対する全国緊急署名」を広く集めるために、経験や活動を交流しました。

三多摩革新懇の三好紘一代表世話人は開会あいさつで、「改憲勢力も圧倒的な世論をつくらうとしており、草の根の活動同士のたたかいになっている。新署名で情勢を切り開こう」と訴えました。

九条の会世話人で早稲田大学名誉教授の浅倉むつ子氏は講演で、平和の問題とジェンダー平等は非暴力の平和な社会をつくる上で密接にかかわっていると説明。「改憲

の動きに対し、私たちの言葉で憲法と自分を語ろう」と呼びかけました。

全国首長九条の会事務局次長の矢野裕元 狛江市長は「改憲反対へ勇気ある行動をした首長を支えていこう」と呼びかけました。

各地からは、「3000万人署名に取り組んだ力の源は学習」「署名とともに担い手も広げたい」との発言がありました。

安倍首相の姿勢は高校生以下

【青森県／青森県九条の会】 青森県九条の会は18日昼、青森市の新町商店街で「安倍改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」を広げる街頭署名行動に取り組みました。

雪まじりの雨と強風の悪天候の中、11人の参加者が署名を呼びかけました。街頭では、「9条は絶対に守りたい」「わんど（私たち）改憲反対」「なんで安倍は辞めないの」など自分の思いを伝えて署名する市民の姿が多く見られました。

9条改憲発議阻止に賛同・署名した女性（70代）は、「安倍を誕生させたのは小選挙区制だと思っている。自民党も公明党も、議員の数だけ多くて何の役割も果たさない。ああ、早く政権をかえたい」と憤りました。

83歳の女性は、緩やかな口調で「安倍さんは、よくありませんね。自分のことばかりで勝手な人です。こんな首相は見たことありません。まったく、よくないです」と語りました。

署名した女性（40代）は「安倍首相に言いたいことがあります」と話しました。

「息子が高校生だった時、生徒会総会を見る機会がありました。間違ったら認めて

謝り、また話しあいする姿に感動した記憶があります。安倍首相の国会での態度は、高校生以下です」

訪問を待っている方々も

【川崎市多摩区／生田9条の会】 ▽「何故かうかとなさけなくなり、弱い心を何度も叱り、署名をもらいに」（啄木の心を拝借）

2月15日の午後、西生田4丁目地域で署名の訪問活動を行いました。訪問の日程を記した署名用紙をあらかじめポスティング（150軒）しての行動でした。

▽当日は6人の参加で、2人ずつ3組での訪問です。約1時間半ほどで80軒ほど回りました。約半数がお留守でしたが、それでも40人以上の方とお話できました。すでに記入して待っていた方や、奥から署名用紙を持ってきてその場で記入される方など、前もって用紙を配布した効果がありました。趣旨も事前に理解して頂けるので、お話しがしやすくなります。

▽「趣旨は賛同するが署名はできない」「考える」という方には、ニュース読者になって頂くなど新たなつながりを持つことができました。今回の訪問で緊急署名18筆、被爆者署名5筆、ニュース読者9人が増えました。

▽用紙をポスティングしたうち半数のお宅は訪問できませんでした。待たれている方々には申し訳ありません。次回はすべてのお宅にお伺いできるよう、多くの方の参加を呼びかけます。

*署名して準備されていた方から後日連絡があり、あらためて訪問。7筆の署

名が増えました。（渡辺勉・署名係「生田9条の会ニュース」第79号）

考えるきっかけになればと

【千葉市若葉区／わかば9条の会】 わかば9条の会は会員による街角や駅前スタンディングを毎月3のつく日と決めて実行してきました。

多くの人びとと出会い、街角で話してきました。守るという人は、理由も明快です。考えるという人は、いろいろ考えていて単純ではないです。考えるきっかけになってくれればよいと。これからもスタンディングは続けますが、体力との勝負！

（「若葉・九条の会ニュースレター」No90）

お詫びとお知らせ

九条の会が2月27日に予定していた事務局学習会は、新型コロナウイルス対策等の主催者側の都合で急遽中止しました。参加を予定されていた方々にご迷惑をおかけしたことを心からお詫びいたします。

なお、講演予定者のレジュメはすでに完成しており、事務局ではこのレジュメにもとづいてご執筆をいただき、緊急にブックレットにして普及する予定にしています。ご活用ください。